



王ーだより

令和5年12月号
北区立王子第一小学校
校長 岡本 直美

教育目標 **な**仲良く助け合う子 **か**身体をきたえ元気な子 **よ**よく考え最後までやりぬく子 **し**親切で礼儀正しい子

「頭」と「体」と「心」に栄養を！

校長 岡本 直美

令和5年のカレンダーも残すところ12月一枚となりました。本年度も、4月より多くの行事を実施することができました。多様な体験や経験を重ねてきた子供たちは、様々な学びの出会いと多くの人々とのふれあいを通して大切なことを学んできました。これも、子供たちががんばる姿を常に見守り、応援し、観に来て励ましてくださる保護者や地域の皆様がいてこそその健やかな育ちです。ありがとうございます。

さて、11月は「読書月間」でした。人間の成長には、頭の栄養、体の栄養、心の栄養の三つの栄養が必要だと言われます。今の子供たちには、頭と体の栄養だけでなく心の栄養が特に大切ではないかと思います。

子供の心の栄養となるものの一つとして読書があります。読書は子供の心に感動を与え、思いやりの心や想像力などの豊かな心を育みます。

児童文学者の椋鳩十さんは、子供がよい本を読むことの大切さを次のように述べています。

「感動は心の爆発であり、人生にとっての大切な源だ。優れた本は、滑らかな清水のように、子供たちの心にしみ込み、そういう地下水（感動）を子供の心につくる可能性をもっている。」と。

本校の読書月間中は、「読書することの楽しさを味わう」と「読書する習慣を身に付ける」ことを目標に様々なことに取り組みました。図書委員会による「図書ビンゴ」、1～3年生は1500ページか30冊、4～6年生は1500ページ以上を読むことにチャレンジ、読書月間中に読んだ本の中から一人1冊、絵と文で紹介する読書カードを作成し、各学級1名の読書カードを図書室に掲示する等の取組を行いました。

また、期間中は、さくらんぼの会による読み聞かせや、担任以外の教員による読み聞かせ「わくわく出前読書」も行いました。さくらんぼの会の皆様、ご多用の中、読み聞かせをしていただき、本当にありがとうございました。

本校の子供たちは、読み聞かせが大好きです。子供の頃から、読み聞かせを多くしてもらった子供たちは、読書好きの傾向にあります。

そして、静かに、落ち着いて話を聞く習慣も身に付きます。ぜひ、各ご家庭でも親子での読書に取り組んでみてはいかがでしょうか。読み聞かせをするのもよし、親子それぞれに好きな本を同じ時間に読むのもよし、いろいろなやり方があると思います。

今月は、展覧会があります。子供たちが学習の中で、見たり感じたりしながら個性を發揮した、世界にひとつだけの作品がいっぱいの展覧会です。子供たちの想いがつまった作品をこの機会にゆっくりご覧ください。

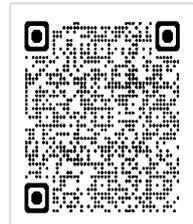
ご来校を、心よりお待ちしております。

〈児童アンケート調査の実施について〉

体罰や暴力のない楽しい学校生活づくりを目指し、児童に「暴力はいけないこと」について指導を行い、楽しく学校生活を送ることができるようにするために、児童にアンケート調査を行います。各家庭においても、お子様の声に耳を傾け、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもつなど、人を大切にすることや暴力はいけないということについてご確認の上、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校にご相談くださるよう改めてお願いいたします。

【王ー小ホームページ】

<https://www.city.kita-tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsutsu/ojida1/index.html>



教員による読み聞かせ



さくらんぼの会による読み聞かせ